

リコー三愛グループ

三愛会 会誌

No.177 2026

特集

『市村清新技術財団』と 『市村自然塾』の活動

市村が最後に起こした事業と、市村の生誕100年を記念してスタートした事業。

“次代を担う人たちのために”という市村の思いを形にして今につながる、この2つの活動をご紹介します。

創業者・市村清物語

次代を担う人たちのために



三愛オブリは自律・分散型インフラ社会の 推進をサポートします

WOTA WOSH 水循環型手洗いスタンド



水と向き合ってきた私たちの
独自技術により
人にも、地球にも
やさしい手洗いが、
どこでもできるようになりました。

日常での利用事例



商業モール・デパート
施設の感染症対策に
ホスピタリティを



学校・キッズエリア
子供が安心して
学べる・遊べる
衛生的な環境づくり



病院・福祉介護施設
病原菌から施設を
徹底的に守る

WOTA WOTA BOX ポータブル水再生システム



水道のない場所での水利用を実現する
ポータブル水再生システム。
排水を再生して
循環利用を可能にすることで、
災害時にも安心安全の水を使えます。

いつでも、どこでも、水道がない場所でシャワーを

空間の清潔さやプライバシーを重視するとともに、緊急時の持ち運びや保管が簡単な、テント方式を採用。避難所をはじめとする災害現場で、WOTA BOXを接続するだけで、誰でもすぐにお使いいただくことが可能です。



蓄電・発電

Powerwallは、家庭用蓄電池です。太陽光などで発電した電気を蓄電することで、電力会社への依存を減らし、エネルギー自律型の生活を目指すことができます。また、停電時でも1台でご家庭の全体をバックアップできる製品能力を備えていますので、より安心な暮らしを実現します。



Lifestyle

Powerwallを導入した
住宅におけるライフスタイル

〈ご紹介ショート動画〉



Powerwall
ライフスタイル

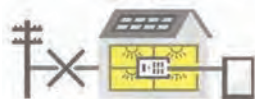


Powerwallが生み出す
安全性と利便性

テスラ家庭用蓄電池
Tesla Powerwall

テスラ Powerwall

<全負荷型>



家全体をバックアップ

他社製

<特定負荷型>



選択したエリアのみ

高性能アプリで簡単管理
遠隔操作・モニタリング、ソフトウェア自動更新



人々の生活と産業を支えるパートナーを目指して

さまざまなエネルギーサービスのシーンで、人々の生活と産業を支えています

Obbli
三愛オブリ

CONTENTS

02 創業者・市村清物語 次代を担う人たちのために

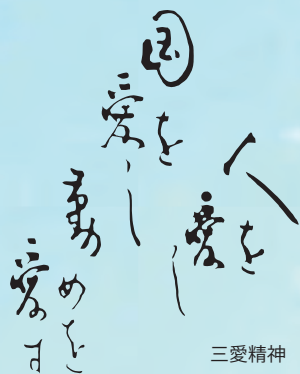
03 特集 市村清新技術財団

09 Group Information リコーITソリューションズ／リコー／リコークリエイティブサービス／ 三愛オプリ／リコーエレメックス／リコーリース

13 特集 「市村自然塾」の活動

17 三愛会プラザ 創業者市村清顕彰活動 ①「市村清ゆかりの地を巡る・東京ツアー 2026」 ②エフエム佐賀「5分でわかる！市村清の経済学」放送終了／ 支部の活動報告／三愛会社友会／「愛の手募金」のお知らせ／ リコーブラックラムズ東京が愛の手募金に寄付 他

21 三愛会会員会社一覧



三愛精神

表紙の言葉

もうすぐ3歳になる息子とお花を種から育てることに挑戦していますが、なかなかうまくいきません。市村自然塾では、農作業を植え付けから収穫まで体験できてうらやましいな、と思いながら描きました。

(作者 佐田みそ)



次代を担う人たちのために

市村の思いを今につなげる

事業の発展のため、従業員とその家族の幸せのためにとがむしやらに走り続けてきた市村でしたが、50代半ばを過ぎると、今までは事業ひとすじだったが、これからは社会や人々の役に立つこともしたい。一体、自分に何ができるだろうか」と考えることが多くなってきました。

そして、『次代を担う人たちのために…』が市村の人生最後の課題となったのです。

ふるさとの子供たちのために

市村にとってふるさと・佐賀は、苦難の思い出に満ちた地でしたが、人生をたくましく生き抜くための血肉や力を育んでくれた地でもありました。脊振山地の稜線や筑後の川筋、広々とした佐賀平野、いつも心によみがえるのは懐かしいふるさとの風景でした。

それゆえ、いつの日か成功して愛するふるさとに恩返しをしたい、それが市村の夢だったのです。

* * *

1957年春、祖父の50回忌記念として母校の佐賀県北茂安小学校に講堂を寄贈しました。その当時、小学校の講堂は二度の台風のために倒壊寸前の危機に瀕していましたから、新講堂は子供たちにとって何よりのプレゼントでした。

「待ちに待った市村講堂が出来上がり、



佐賀県みやき町立北茂安小学校講堂（1957年寄贈）

うれしくてうれしくて……、ぼくたちみんながりっぱな人間になることが市村先生のご恩にむくゆることだと思います」落成式典において児童代表のお礼の言葉を聞きながら、市村の心も喜びに満ちあふれるのでした。

ふるさとの子供たちのために贈ったもう一つのプレゼントが1963年の「佐賀県体育館」（現「市村記念体育館」）です。私財2億1000余万円を投じた体育館は、当時としては全国でも有数な超豪華版で、スポーツ大会のみならず、演奏



佐賀県体育館（現 市村記念体育館 1963年寄贈）

会や演劇会なども開催、佐賀のスポーツ・文化の振興に大いに寄与したのです。

「将来を担う青少年の心身を健全に育成することこそが、国家や社会の発展の最大の基礎である。私が故郷に対して何らかのお返しができるなら、ぜひ彼らの精神と肉体の練磨に役立つような道場になりたい」と願った市村にとって体育館はまさにその具現化で、「体育館を贈ったことは、私が故郷に残し得る一番大きなものになったかもしれない」と思っていた。

* * *

2001年10月、神奈川県松田町に「市村自然塾 関東」、翌年1月、佐賀県に「市村自然塾 九州」が設立、毎年、新しい塾生たちを迎えています。

「生きる力を大地から学ぶ」を基本理念とした自然塾の活動は、市村が目指した

「青少年の心身を健全に育成する」という思いを今に受け継いだ新たな形と言えましょう。

日本の将来を担う 科学者たちのために

「裸で生まれてきたから、裸で死にたい」と思っている。築いた財産は世のため、人のために使いたい」

この信念の下、学校が良いか、研究施設はどうかなどと考えているさなか、病に倒れ、死期を悟った市村は遺産を「日本の科学者の育成」のために使うと決意、具体策を部下たちに委ねました。

三愛会の役員たちは議論を重ねた結果、「日本の将来を担う科学者の育成を目指す財団の設立」が市村の意向に沿うという結論を得て、科学技術庁に設立の認可を申請。1968年12月12日、「財団法人新技術開発財団」（現「市村清新技術財団」）の設立が正式に認可されました。市村の亡くなる4日前のことです。

市村は遺言をもって自身所有のリコー三愛グループ各社の全有価証券（当時の時価で約30億円）を財団に寄贈。市村の私邸は財団の本拠地となり、熱海市にあった別荘「清恵荘」も妻・幸恵の死後、財団に寄贈されて研究施設「植物研究園」に変身しました。

現在、市村財団は新技術開発助成、市村賞贈呈、少年少女創造性育成をはじめさまざまな事業を展開し、若い科学者やその卵たちを支援しています。市村の思いはここでも今につながっているのです。

特集 市村清 新技術財団

1968年12月16日、市村清逝去。彼が人生の最後に手掛けた事業が「新技術開発財団」の設立でした。同年12月12日、財団の設立が認可され、翌年4月4日、記念すべき第1回市村賞の贈呈式が行われました。

設立から今年で58年、財団は市村の遺志を継ぎ、日本の科学の発展に寄与すべく、さまざまな活動が続けてきました。今回は財団の設立から現在の活動等々をご紹介します。

財団の設立

新技術開発財団の設立は「社会の役に立つこと」を信念として持ち続け、築き上げた財産を日本の科学の発展のために使いたいと願った市村の、いわば「置き土産」でした。

（創業者・市村清物語）（2ページ 参照）

死期の迫った市村の意を汲んで、財団立ち上げに奔走した関係者たちの趣意書には次のように記されています。

いまや世界をあげて技術革新の時代であり、科学技術の進歩は経済社会の発展と国民生活の向上に不可欠な要素となっています。しかも、この科学技術は開放経済体制のもとにおける厳しい国際競争場裡にあつて、めざましい勢いで前進革新されつつある現状であります。

このような情勢のもとで、将来にわたってわが国が繁栄するためには、すばらしい創意工夫を育成し、研究開発を行うことにより、これを実社会に役立たせるとともに、諸外国に先んじて技術革新による新分野を醸成開拓することが最も重要であると確信します。

この観点にたつて「リコー三愛グループ」各社を統括する市村清氏の提唱により本財団を設立し、技術革新に即応した新しい技術社会の基盤を造成し、もってわが国の経済社会の発展と国民生活の向上に寄与せんとするものであります。

「新技術開発財団設立趣意書」より

1968年12月12日、内閣総理大臣により設立認可され、市村の遺産（個人所有の全有価証券）が財団に寄贈されました。その後、幸恵夫人の有価証券やその他の財産（静岡県熱海市の市村の別荘「清恵荘」など）が財団に遺贈され、財団はこれらの財産の果実をもつて事業を展開してきました。

第1回市村賞贈呈式が市村の誕生日にちなんだ69年4月4日、東京のホテルオークラにおいて開催され、本賞（300万円）は「合成紙（Qパー、Qコート）の開発とその企業化」（日本合成紙㈱）に授与されました。

さらに市村賞の贈呈に続いて、68年度のアイデア技術開発費の助成についても発表されました。

以降、市村賞は国内有数の科学技術賞として評価が高まり、これまでに社会に大きな変革をもたらした数々の革新的な技術や研究が受賞されています。

また、新技術開発の助成も設立以来続いており、これまでの助成総件数は909件、総助成額は81億円を超えました。

市村の思いは確かな形となつて今に続いていると言えます。

なお、「財団法人 新技術開発財団」は2018年4月1日、「公益財団法人 市村清新技術財団」に名称変更しました。



第1回市村賞贈呈式の模様（1969.4.4 ホテルオークラ）



市村清新技術財団 事務所（旧市村邸）

※新事務所は2028年夏に竣工予定



市村清新技術財団 植物研究園

財団の活動

市村清新技術財団は、科学技術の研究開発に対する助成、優れた科学技術の顕彰、科学技術に関する子供の創造性の育成、植物の生態・環境計測技術・保全・再生・省資源の研究に対する助成などによって科学技術の振興を図ることにより、わが国の経済社会の発展と国民生活の向上に寄与するために活動しています。

主な事業内容は次の通りです。

科学技術の研究開発助成

新技術開発助成

「科学技術に関する独創的な新技術の実用化」を狙いとしており、基本技術の確認が終了し、実用化を目的にした開発試作を対象に助成。助成金額は1件につき最高2400万円まで（試作費の80%以下）。

地球環境研究助成

地球環境保全のために、喫緊の課題となっている地球温暖化対策に関わる研究テーマ、具体的には省エネルギー、再生可能エネルギー、蓄エネルギー、インフラ・システムなどの技術分野、あるいは社会科学分野を助成の対象とする。

新技術顕彰

市村賞の贈呈

市村賞は市村清の紺綬褒章受章（1963年）を記念して創設されたもので、わが国の科学技術の進歩、産業の発展に顕著な成果を上げ、産業分野あるいは学術分野の進展に多大な貢献をされた個人またはグループを表彰する。

第8回より従来の分野を産業賞として、学術賞を

新設し、それぞれに本賞、功績賞、貢献賞を設定。また第51回から地球環境産業賞、地球環境学術賞を加え、それぞれに功績賞、貢献賞を設定している。

市村産業賞

優れた国産技術を開発することで、産業分野の発展に貢献・功績のあつた技術開発者に贈呈。本賞（賞金3000万円）は事業経営者とともに表彰する。

市村学術賞

大学ならびに研究機関で行われた研究のうち、学術分野の進展に貢献し、実用化の可能性のある研究に功績のあつた技術研究者またはグループに贈呈。

市村地球環境産業賞

地球温暖化防止に関する産業分野を対象とし、優れた国産技術を開発することで、産業分野の発展に貢献・功績のあつた技術開発者またはグループに贈呈。

市村地球環境学術賞

大学ならびに研究機関で行われた研究のうち、地球温暖化防止に関する技術分野において顕著な業績のあつた技術研究者またはグループに贈呈。

国際技術交流助成

市村学術賞、市村地球環境学術賞を受賞された方を対象に、国際技術交流に関する活動に対して行う助成で、「国際研究集会参加助成」と「国際研究集会開催助成」の二つの制度がある。

市村賞受賞記念フォーラム

科学技術の振興を図ることを目的として、市村賞にゆかりのある第一線の研究者・技術者による基調講演会、市村賞受賞者によるパネルディスカッションおよび交流会を年1回開催する。

少年少女創造性育成

次代を担う少年少女たちが創造性豊かに成長することを願ってスタートした事業。

市村アイデア賞の贈呈

優れた小・中学生の発明や工夫に対し、文部科学省、朝日新聞社、朝日学生新聞社の後援を得て表彰し、奨学金を交付する。作品がなくてもアイデアの図だけで応募できるのがこの賞の特色である。

第56回（2025年度）の応募総数は3万5512件。



キッズ・フロンティア・ワークショップ

科学技術に関する講話や実験・工作などを通して科学の原理を楽しみながら理解し、創造への意欲を高めてもらうことを狙いとする事業。

「かがく・夢・あそび」という活動名で、「半日コース」「冬1日コース」「春1日コース」がある。



植物研究助成

植物の生態・環境およびその計測技術、保全・再生・省資源の研究に対し助成し、研究のためのフィールド（市村清新技術財団植物研究園・静岡県熱海市）を提供する。

第1回（1992年度）から第35回（2026年度）までの助成実績は延べ569件、総助成額は約9億円となっている。



最近の主な市村賞受賞者・受賞テーマ (※受賞者の敬称略)

市村産業賞（本賞）

- 第 52 回（2019 年度）
「二次元コードの開発と進化」
株デンソーウェーブ
- 第 53 回（2020 年度）
「炭化水素燃料バーナーを利用したクロム鉱石熔融還元プロセス」
JFE スチール(株)
- 第 57 回（2024 年度）
「高機能快適繊維素材に資する超精密複合紡糸技術」
東レ(株)
- 第 58 回（2025 年度）
「パスワードレス個人認証方式の国際標準化と商用システム開発」
LINE ヤフー(株)

市村学術賞（本賞）

- 第 56 回（2023 年度）
「量子アニーリングの創出と展開」
東京工業大学 西森秀稔
- 第 57 回（2024 年度）
「量子ドットの提唱とその先導的研究、ならびに量子ドット半導体レーザの社会実装」
東京大学 荒川泰彦



市村賞の記念賞牌
デザイン：大藪雅孝氏
東京芸術大学工芸科出身

記念牌制作に当たって、東京芸術大学工芸科の助手・副助手を対象としたデザイン・コンペティションが行われた。しかし、財団設立から第 1 回表彰式までの期間が短すぎて制作が間に合わず、表彰式では目録が渡された。

市村地球環境産業賞（功績賞）

- 第 56 回（2023 年度）
「カーボンニュートラルに資する高効率木質バイオマス専焼発電技術」
株 IHI・日本製鉄(株)
- 第 57 回（2024 年度）
「脱炭素に資する高密度セルロースファイバー成形材料の生産技術」
パナソニック・ホールディングス(株)

市村地球環境学術賞（功績賞）

- 第 56 回（2023 年度）
「フレキシブル有機環境発電デバイスの開発と実用展開」
九州大学 安田琢磨・株リコー 新居遼太
- 第 57 回（2024 年度）
「革新的エネルギー技術を考慮した脱炭素シナリオの構築と経済影響」
京都大学 藤森真一郎・大城 賢



ノーベル賞受賞の吉野 彰氏 かつて市村賞を受賞

2019 年、「リチウムイオン電池の開発」でノーベル化学賞を受賞した吉野氏は、2001 年、市村賞を受賞されました。



第 33 回市村賞贈呈式における吉野彰氏

第 33 回（2000 年度）市村産業賞 功績賞

受賞テーマ：

リチウムイオン二次電池の開発と製品化

受賞者：旭化成(株) 吉野 彰

(株)エイ・ティーバッテリー 中島孝之・大塚健司

受賞理由：安全性が高く高エネルギーを実現するリチウムイオン電池（LIB）の基礎的な構造を確立し、世界に先駆けて製品化への道を開いたこと

この技術がのちのノーベル化学賞へとつながる基盤となりました。

工業用印刷におけるインクジェットヘッドの開発で、 リコーとリコーインダストリーが共同受賞

第 58 回（2025 年度）市村産業賞 功績賞

受賞テーマ：

産業・工業用印刷の A to D の普及に資するインクジェットヘッド

受賞者：株リコー 清水武司・飛田悟

リコーインダストリー(株) 久貝健一

受賞理由：産業・工業用印刷のデジタル化を推進するインクジェットヘッドの優れた開発



MH シリーズ インクジェットヘッド活用例

リコーは 1973 年から独自のインクジェット技術の開発に着手、オフィスでのプリントから始まった技術は、商用印刷、さらには産業用・工業用印刷といったさまざまな領域へと展開されています。

財団の 過去・現在・未来

訪問インタビュー

市村清新技術財団会長 中村 高氏
事務局長 林 嘉隆氏

市村清新技術財団の本部は、市村夫妻が暮らしていた邸宅を事務所として活動していましたが、老朽化等を理由にこのたび建て替えることが決まりました。

旧市村邸を訪問できる最後の機会に事務所に、中村会長と林事務局長に財団の事業や今後の活動などについて伺いました。

——市村清新技術財団の前身「新技術開発財団」設立のいきさつについて

中村 市村清は1929年に九州で理研感光紙の



中村 高 会長

販売店を起業し、その時に理化学研究所の大河内正敏所長と出会いました。理化学研究所は日本をリードする最先端の科学技術をはじめとする総合研究機関であり、大河内氏の科学技術によって日本を興すという考えに市村も大変感化され、琴線に触れたのだと思います。

市村は戦後の荒廃した日本の状況を見て、資源に乏しい日本の復興のためには、科学技術とそれを支える人材を育成すること、これこそが自分の使命であると心に誓ったわけです。

この使命感は財団の設立につながる一步になったのかもしれない。

——理化学研究所はじめ、市村の時代から続いている関係は

中村 理化学研究所とは理研が開発した陽画感光紙の販売会社を市村が任された当時から付き合いが続いています。戦後は宮家を縮小するなど厳しい時代がありましたが、そのときに市村が援助したのが三笠宮家で、以来、三笠宮家とご縁も続いています。

三笠宮寛仁殿下に初代総裁としてご支援いただき、現在は彬子女王殿下が総裁を継がれ、毎年市村賞の贈呈式ではお言葉を頂戴しています。

ちなみに、財団の組織は理事会と評議委員会で構成されており、理事会は執行、評議委員会は財団の運営や業務の方針など重要課題の意志決定を行っています。どちらも代表理事がトップを務めています。日々の活動には事務局長である林さんの役割が大きく、大変だと思っています。

——事務局長としての役割について

林 私が事務局長に就任したのは2024年ですが、実はそれまで財団のことはあまり知りませんでした。着任してから市村清の人脈のすごさや財

団の活動が世の中にもたらしている功績の素晴らしさを知り、自分も責任重大だと思っています。

事務局長の役割としては、各事業を確実に行っていくことなど多々ありますが、総裁である彬子女王殿下の市村賞贈呈式へのご臨席をお願いしたり、宮家や大学の著名な先生方へのご依頼ごとや調整などに気を使います。

——「市村賞」について

中村 我々の財団と同じように、科学技術をはじめ経済研究、基礎研究などさまざまな分野において、表彰や支援を行う財団や機関が国内には多数存在します。かなり細分化されていますが、科学分野を志す方々の多くは市村賞をご存じと思います。本賞の賞金3000万円も魅力ですよ。

それから、市村財団の特徴は表彰や支援の対象を日本国内に限定していることです。グローバル時代ですが、日本の科学技術の発展に寄与し、日本の経済社会を豊かにしたいと願った市村の遺志を受け継いでいるからです。

市村学術賞は本賞のほかに貢献賞があります。貢献賞は受賞年齢を45歳までとしました。長年の研究成果と実績によって表彰されることの多い世界ですが、表彰される研究者の年齢がどうしても高齢になってしまいがちです。そこで新たに45歳以下の若い研究者に絞った賞を作りました。この賞は学会でもユニークな賞として認知されています。

林 市村賞は、設立の趣旨に沿ってただ表彰するだけでなく、その後も研究者との交流や支援を続けており、近年は年に1度、市村賞受賞記念フォーラムを開催し、基調講演や市村賞受賞者によるパネルディスカッションを行っています。誰でも参加できますので、研究者だけでなく大学生の参加者も多いです。また、サイエンスライターの方

内さんに協力してもらい、研究者とのトークセッションを行い受賞技術を広く理解していただくことも行っています。

—印象に残っている過去の受賞テーマは

中村 これまでの多くの受賞テーマの中で記憶に新しいのは、デンソーウェーブさんの『二次元コードの開発と進化』です。いわゆるQRコードの開発ですが、この技術の先進性や汎用性に着目し、2019年に本賞受賞となりました。現在では世界標準になり、日本で開発されたものが世界に羽ばたいたことは荣誉であり、素晴らしいと思います。

それから、2024年に本賞を受賞した東レさんの『高機能快適繊維素材に資する超精密複合紡糸技術』です。この新繊維が生まれるまで、化学繊維は大きくはナイロン、ポリエステル、アクリルの3つに分類されました。ナイロンは水を吸収し、ポリエステルは水を弾き、アクリルは保温性が高い。この3つの利点を生かした機能性に優れた新繊維は、その後世界中の繊維業界で採用され、私たちの生活を一変させました。

—植物研究の助成について

中村 市村夫妻の別荘であった「清恵荘」（熱海市）の所有が財団に移った時に、この施設の利用の仕方として植物研究園にすることを決め、開設しました。研究者からの評判も良く、植物分野の若い研究者たちがひっきりなしに園を利用しています。

アクセスが良く宿泊も可能ですから、長期間滞在して研究に没頭する若い助教や講師もいます。研究者の三分の一は女性です。植物分野は派手さはありませんが人類にとって不可欠なものです。

—市村清新技術財団の今後の目標や展開などについて

中村 市村賞受賞フォーラムに大学生や大学院生が大勢参加してくれていますが、彼らのような若い研究者の活動を支援して次世代の人材を育てていきたいと思っています。青少年創造性育成のための市村アイデア賞もありますが、市村の遺志でもあるこれからの日本を担う人材を育成していくことが使命であると考えています。

そのためにはより一層、対外的なコミュニケーション活動を強化し、ホームページのリニューアルやロゴマークの新設など広く一般の方たちからも認知していただくようなPR活動を展開していくことに重点を置きました。市村清新技術財団の存在意義を世の中に発信し、日本の科学技術の発展に貢献していきたいと思っています。

それから、市村の思い出が詰まった財団の建物ですが、市村邸として竣工してから70年余りを経て老朽化も進み、メンテナンスだけで維持することが難しくなったため、建て替えが決まりました。しかしながら、市村がデザインや使用材料にまでこだわって築かれた建物ですから、建て替えにあたってはできる限り当時の意匠や市村の思いを残し、遺志を受け継ぐ方針です。大田区をはじめ、地域住民の皆さまへの説明会も実施しました。今では財団周辺にお住まいの方でも市村を知らないという方がほとんどなので、できるだけ丁寧な説明を行い、ご賛同いただきました。



財団の庭で。中村会長（右）と林事務局長

林 新事務所は、財団設立60年の節目の年でもある2028年6月完成予定です。市村清の歴史的な遺品を展示するギャラリーを併設するなど、過去から受け継がれている現在の財団の建物の雰囲気なるべく残しつつ、これからの100年につなげられるようなものとしていきたいと思っています。

—今回は貴重なお話をありがとうございました。新事務所の完成を楽しみにしています。

旧市村邸 フォトアルバム

1954年竣工の市村邸。

丸い形や曲線を好んだ市村は、玄関ホールから2階へと続く階段をらせん状にし、応接室は庭に突き出た出窓を丸くしました。居間の調度品もできるだけ丸い形のを配し、部屋の隅に植木や花を置いて角を隠す工夫をして、四角い空間を和らげたのです。

市村夫妻が住み始めた頃は前方に建物が多かったため、2階の窓から理研光学工業（現リコー）大森工場が望めました。



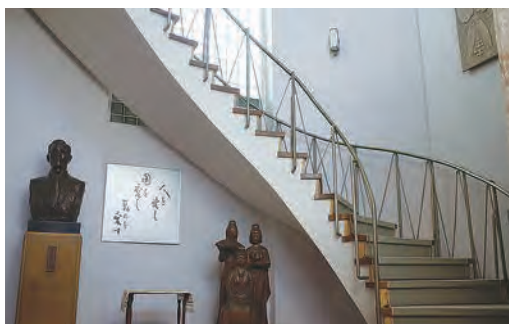
市村が“丸”にこだわった応接室の出窓



広い庭の真ん中にある大きな松の木。
建て替え後も残る予定



建設中（写真奥）、手前は理研光学大森工場の敷地（1954年）



玄関ホールのらせん階段



市村清ギャラリーには藍綬褒章の勲章など思い出の品々が展示されている



高台に建つ市村邸。バスが走るのは現“環七通り”で、当時はまだ開通していなかった（1959年）

秘密の場所？



絵画や骨董品などの“お宝”が収蔵されていた「蔵」



万が一に備えて設置された「地下シェルター」

公益社団法人 市村清新技術財団

設立：1968年12月12日

<https://www.sgkz.or.jp/>

※建て替え工事期間中の事務所の所在地等についてはホームページをご確認ください。



新事務所
完成イメージ図

リコー IT ソリューションズ

9 拠点目となる高松事業所を開設

リコー IT ソリューションズは、4月1日に9拠点目となる高松事業所を開設し、4月3日に関係者を招いて開所式を執り行いました。開所式の様子は地元各局のニュースにも取り上げられ、地域からの大きな期待が感じられました。香川県・高松市との立地協定締結から約3カ月という短期間での開所となりましたが、多くの関係者の皆様のご支援・ご協力により、無事に開所の日を迎えることができました。高松事業所は8人でスタートし、今後は新卒・キャリア採用を積極的に進め、2030年までに50人体制へと拡大していく予定です。

開所式で野水泰之社長は、「地域のお客様からの IT サービスへのニーズの高まりを背景に、四国初となる事業所を高松市に開設しました」と述べ、「高松事業所が、本州と四国を結ぶ瀬戸大橋のように、地域と地域をつなぐ DX の架け橋となり、持続的な地域社会の発展に貢献していきたい」と挨拶しました。



開所式参列者の皆様（中央がリコー IT ソリューションズ野水泰之社長）

リコー

2026 年度入社式 - 「UNITE」 をコンセプトに新たな仲間を歓迎

リコーは4月1日に本社事業所で2026年度入社式を開催し、91名の新入社員を迎えました。今年度も「UNITE（一体感）」をコンセプトに、新入社員同士のつながりを深めるとともに、温かな歓迎を感じられる式典として開催しました。

リコーフィルハーモニーオーケストラによる演奏で華やかに始まり、経営層との座談会や、リコーブラックラム



新入社員の皆さん、役員の方々、ラムまるの集合写真

ズ東京によるチームビルディング企画など、多彩なプログラムを実施。経営層や先輩社員、スポーツチームが一体となって新たな仲間の門出を祝いました。山下良則会長と大山晃社長は、新入社員一人ひとりに言葉をかけながら社章を進呈。大山社長は、「新しい感性を持った皆さんにはリコーの進化の先頭に立っていただきたい」と激励し、「お客様が“はたらく喜び”を感じるお手伝いをしてほしい」とメッセージを送りました。新入社員からは、「歓迎や期待の気持ちが伝わった」「心に残る一日となった」などの声が寄せられました。

リコー

インクジェットヘッドが「市村産業賞」の「功績賞」を受賞

リコーが開発した産業・工業印刷用インクジェットヘッド「MHシリーズ」が、公益財団法人 市村清新技術財団が主催する「市村産業賞」の「功績賞」を受賞しました。リコーが同賞を受賞するのは、2018年の「二眼屈曲光学系を用いた薄型全天球カメラの実用化」（RICOH THETA）による「貢献賞」以来となります。

4月17日に行われた「第58回 市村賞贈呈式」には、リコーグラフィックコミュニケーションズ BU 産業印刷事業本部の清水武司さんらが出席しました。

リコーは1973年から独自のインクジェット技術の開発に取り組んでおり、「MHシリーズ」は、高速かつ安定した印刷を実現するインクジェットヘッドとして、ワイドフォーマットプリンターをはじめ、ラベル・パッケージ、デジタル捺染など幅広い分野で活用されています。近年では、3D造形や配線パターン形成、さらにはリチウムイオン二次電池やペロブスカイト太陽電池製造への応用も進んでいます。



左から清水武司さん、OBの飛田悟さんと久貝健一さん

リコー

「Girls Meet STEM」リコーツアー第2回を開催

3月27日、リコーテクノロジーセンターで、リコーグループ技術専門委員会の連携活動であるIC-WG（Inclusive Culture Working Group、旧 DEI-WG）が、「Girls Meet STEM」リコーツアーを開催し、女子中高生19名が参加しました。「STEM」は、科学（Science）、技術（Technology）、工学（Engineering）、数学（Mathematics）の頭文字を取った造語で、同ツアーはSTEM分野について学び、女子中高生の将来の選択肢を広げることを目的としたプログラムです。

当日は、複合機のしくみを学ぶワークショップや事業所内の見学、女性技術者との座談会を実施。参加者からは、「会社に対する解像度が上がった」「女性社員が楽しそうに働く姿が魅力的だった」との声が寄せられました。IC-WGでは、今後も女性技術者の母数拡大と、研究・開発の現場におけるインクルーシブな企業文化の醸成に向けた活動を進めていきます。



「Girls Meet STEM」リコーツアーに参加された皆さん

リコー

テニス部が出場カテゴリーのすべてで優勝の快挙！

日本テニス協会（JTA）公認の「第38回ダンロップカップ 神奈川インドアオープンテニス2026大会」の本戦が、6月4日から7日にかけて荏原湘南スポーツセンター（神奈川県藤沢市）で開催され、男子シングルスで、今年4月に入社した松村亮太朗選手が優勝。関東オープンに続き、今季2度目の優勝を果たしました。また、女子シングルスでも板谷里音選手が優勝。女子ダブルスでも谷井涼香選手と大川美佐選手が優勝し、リコーテニス部の選手が出場したすべてのカテゴリーで優勝する快挙となりました。

松村選手は、「優勝を目指して準備したインドア環境への対応が、結果として形になった」と大会を振り返りました。板谷選手は、「課題への取り組みでプレーが改善され、安定したプレーができた。シングルスでの2年ぶりの優勝は今後の自信につながる」とコメントするなど、各選手とも、今後の大会での活躍へ向けた意気込みを語りました。

男子シングルス優勝
松村亮太朗選手女子シングルス優勝
板谷里音選手女子ダブルス優勝
大川美佐選手（左）と谷井涼香選手

リコー

「市村自然塾 関東」では、ボランティアの皆さんが大活躍しています

リコー三愛グループ創業者・市村清の生誕100年を記念して設立された「市村自然塾 関東」（神奈川県足柄上郡）では、令和8年度の塾生（第25期生）28名が元気に活動中です。

市村自然塾 関東の名物となっている「ゴボウ畑の深耕うん（畑づくり）」に、リコー三愛グループ社員をはじめとする体力自慢のボランティア参加者が集まり、スコップを手に一心不乱に土を掘りました。はじめは塾生の作業を邪魔しないよう遠慮がちでしたが、塾生が休憩している間に“大人の力”を発揮し、塾生より深く掘り下げました。力仕事に汗をにじませながらも、割り当て区画を見事に掘り終えた皆さんの表情は、達成感と充実感にあふれていました。日頃のデスクワークを離れ、自然の中で無心に体を動かす時間は、心身のリフレッシュにもつながったようです。

市村自然塾 関東では、ボランティア参加者だけでなく、賛助会員も募集しています。詳しくはWebサイトをご覧ください。 <https://www.szj.jp/>



ゴボウ畑で汗を流してリフレッシュ

リコー

リコーブラックラムズ東京、初のリーグワン準々決勝進出！

2025 年 12 月開幕の「NTT ジャパンラグビーリーグワン 2025-26」で、リコーブラックラムズ東京はレギュラーシーズンを 9 勝 9 敗で終え、12 チーム中 5 位でフィニッシュ。上位 6 チームで争うプレーオフトーナメントにリーグワン発足以降初めて進出しました。

東京サントリーサンゴリアスとの準々決勝では終盤まで白熱した戦いを繰り広げましたが、最後に逆転を許し、惜しくも敗戦。チーム史上最高順位の 5 位でシーズンを終えました。

今シーズンはリコー創業者・市村清の出身地である佐賀県で初めてホストゲームを開催するなど、リコー三愛グループとの新たなつながりも生まれました。シーズンを通して温かいご声援をお寄せいただいた皆さまに、チーム一同心より感謝申し上げます。来シーズンもさらなる飛躍を目指し、皆さまに活力と感動をお届けできるように挑戦してまいりますので、引き続き応援よろしくお願いいたします。



リーグワン発足 5 シーズン目で初のプレーオフトーナメント進出を勝ち取った

リコークリエイティブサービス

リコーグループの皆さまに保険相談 Forms のお知らせ

リコーグループの福利厚生制度保険を取り扱っているライフサポートセンターでは、リコーグループの皆さまに保険相談の窓口の一つとして、保険相談 Forms（オンライン受付フォーム）をご用意しております。

お持ちのスマートフォンで右記の二次元バーコードを読み取ってください。ご入力内容は以下となります。

- 所属会社（本籍）※退職者の方は以前在籍されていた会社
- お名前（カタカナ）
- メールアドレス
- お住まい（都道府県）
- RCS 保険相談方法の選択（リアル相談・オンライン相談・メール相談・電話相談）
- 相談や確認したい事項について（任意）
- その他（任意）

※通常は営業日 3 日以内にメールにてお返事いたします。

※ご希望の相談方法や日時など、最初はメールでのやり取りをさせていただきます。



〈お問い合わせ先〉 ライフサポートセンター 営業推進室 zjp_sales_promotion@jp.ricoh.com

リコークリエイティブサービス

リコー三愛グループ「住まいの法人提携制度」のご案内

リコー三愛グループの皆さまが住まいをかう・建てる・売る・リフォームする時
全国の法人提携企業 約 100 社から割引・優遇が受けられる制度です。

例えば・・・ ●新築マンション（価格 5000 万円）を購入 ⇒ 1%の割引物件なら 50 万円の割引特典

●注文住宅（建物価格 3000 万円）で建築 ⇒ 3%割引の会社なら 90 万円の割引特典

ご注意：提携会社に初めて問い合わせをする前に当社発行の「紹介カード」がないと適用されません。

① リコー三愛グループ生活支援サイト「Rnavi」を検索（もしくは右の QR コードから）

② Rnavi から「紹介カード」を発行申請

③ 「紹介カード」を持って提携会社に問い合わせ



〈お問い合わせ先〉 ファシリティマネジメント事業本部 CRE 部 担当：田中 電話：080-2004-5712

三愛オブリ

Obbli Base 熱海（旧熱海研修センター）リニューアル

三愛オブリは、人財を重要な経営資源と位置付け、人的資本への投資強化を目的として、自社研修センターを2026年3月に全面リニューアルいたしました。旧センターは1990年に創立35周年記念事業として開設され、三愛オブリグループの人づくりを支え続けてまいりました。

今後の長期的な活用を見据え、大人数収容、省エネルギー化および多様性への配慮を重視した本施設は、「Obbli Base 熱海」と改称し、今後、グループ全体の人財育成拠点として活用してまいります。



研修室



外観

リコーエレメックス

精密部品加工の新生産拠点が誕生 タイ王国の新工場で竣工式開催

タイ王国で自動車部品を中心とした精密加工部品の新たな拠点が完成し、3月30日、チョンブリー県シラチャ郡に位置する新工場で竣工式が行われました。式典にはリコーの塩川コーポレート執行役員、RICOH MANUFACTURING (THAILAND) LTDの杉山 President、新工場の責任者である蛭海謙二さん、リコークリエイティブサービスの耳野社長ら関係各社の役員、マネージャーが出席。当社からは富永社長、古瀬執行役員などが出席しました。

新工場は「次世代工場」をコンセプトに加工エリアのオイルミストゼロなどを目指しています。また、食堂をはじめとした社員の憩いのスペースには社員のアイデアがふんだんに生かされています。



2027年4月に本格稼働を予定する新工場

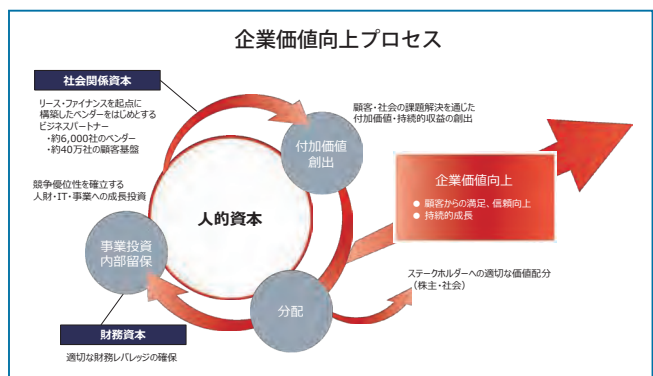
リコーリース

2026-2028 年度中期経営計画を発表

リコーリースグループは、2026年4月より新たな3カ年の中期経営計画をスタートさせました。各事業における競争優位性の確立を通じて付加価値の拡大を図るとともに、資本収益性を高めることで、持続的な企業価値向上の実現を目指します。

これまで掲げてきた中長期ビジョン『循環創造企業へ』の考え方を継承しつつ、企業価値向上をより明確に経営の中核に据え、事業活動と直結する方向性を示すため、本中計の開始にあわせて中長期ビジョンを「リースの可能性を広げ、中小企業を支える基盤へ」に刷新しました。

当社は、ベンダーリースを起点に構築してきたビジネスモデルを通じて約40万社に及ぶ顧客基盤、堅実なオペレーションを強みとして成長してきました。今後は、これらの強みを基盤に、環境・不動産・BPOなどへ事業領域を拡張するとともに、人財及びITへの投資を通じて、高収益・高効率な事業基盤へと進化させていきます。



「市村自然塾」の活動

「市村自然塾」は、創業者・市村清の生誕1000年を記念して設立されたNPO法人です。2001年10月、(株)リコーが「市村自然塾 関東」を、翌年1月、コカ・コーラボトラーズジャパン(株)が「市村自然塾 九州」をスタートさせました。設立から25年、自然塾で活動する子供たちの様子や今後の目標などについて紹介します。

■ご挨拶■

市村自然塾 総合塾長

山下 良則

「市村自然塾」は、三愛精神「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」を受け継ぎ、創業者・市村清生誕1000年の記念事業の一環として、これからの日本を担う青少年の健全な成長を促す「場」として設立されました。



「市村自然塾 九州」で塾生たちに挨拶する山下総合塾長。この後、塾生たちと一緒にもち米の稲刈り作業も行った
(2023.9.23 女子第10ステージにて)

塾活動をするにあたって、いつも塾生たちにお願していることが3つあります。

1つ目は、仲間を大切にし、協力して最高の思い出をつくること。

2つ目は自分で考えて行動すること。自然の中では思いもよらないことが起こったり、不自由なことがあると思いますが、自分でよく考えて工夫し、行動できる力を養ってほしいということ。

3つ目は自然の大切さを学ぶこと。

私は農家に生まれたので、季節の野菜を食べて育ち、汗をかく喜びや、家族や仲間と働く楽しさを学びました。ですから、子供たちにも自然塾で多くのことを経験してもらい、ここでの学びを自身の成長に役立ててほしいと思います。

これからのデジタル社会を生きていく子供たちには、高度なデジタルスキル・リテラシーが求められます。しかし、子供たちがデジタル社会で活躍していくためには、その前提となる、人と自然との交わりを通じて育まれた知験と健全な価値観が不可欠になると考えています。「市村自然塾」は、今後もこの考え方に基づき子供たちの育成に継続して取り組んで参ります。

基本理念

『生きる力を大地から学ぶ』

- ・ 自然の助けを借りながら
- ・ 共に考え、知恵を働かせ
- ・ 自らの汗を流し
- ・ 自らが成長する

ねらい

『3つの心と2つの力を育む』

- ・ 自然を慈しむ心
- ・ 相手を思いやる心
- ・ 社会の一員として、社会の基本的なルールを守る心
- ・ 自分のことは自分でやる力
- ・ 安全(危険)を知る力

設立にあたり

「市村自然塾」は、小学校4年生から中学校2年生までの男女を対象に、歳の違う子供たちが寝起きを共にし約9カ月 にわたり共同生活を行いながら農業体験を通して自然と向き合っています。

主な時間割は世話人(スタッフ)が作りますが、塾生(子供たち)の自主性を重んじて、塾での活動や問題が起きた際には、できる限り塾生同士で話し合い解決策を見出せるよう導いています。

市村自然塾 九州 (施設概要)



名 称：特定非営利活動法人 市村自然塾 九州
所在地：〒 841-0087 佐賀県鳥栖市河内町字谷口 2212-2
設 立：2002 年 1 月

市村自然塾 関東 (施設概要)



名 称：特定非営利活動法人 市村自然塾 関東
所在地：〒 258-0001 神奈川県足柄上郡松田町寄 5807
設 立：2001 年 10 月

「市村自然塾 関東」の活動紹介

「市村自然塾 関東」では現在、第25期生（男女合わせて28名）の塾生たちが活動中です。6月20日、女子第9ステージの様子を取材しました。悪天候の中でも、元気に作業に励む塾生たちの姿と、彼らを率いる村山塾頭や世話人（スタッフ）の方のお話をご紹介します。

第9ステージの最初の作業はジャガイモ掘り。途中から雨が本降りとなり、予定量の収穫はできませんでしたが、塾生たちは掘り残しが無いようにと頑張って掘りました。昼食は農園で収穫した夏野菜の Pasta とサラダ。採れたて野菜は新鮮でとてもおいしかったです。午後からは前回収穫した小麦の脱穀と風選。昔ながらの機械を使つての作業を初めて見ました。2日目はチーム農園での作業やクワ研ぎを行いました。



最初の作業はジャガイモ掘り。雨にも負けず頑張ったおかげで、たくさん収穫でき、午後には、この日の収穫量の計測も行いました



塾生たちも手伝って食事の準備。メニューは夏野菜の Pasta & サラダ。手作りみそをつけて食べるキュウリは絶品です



村山塾頭のサポートで、年季が入った脱穀機を使って小麦を脱穀しました



風選作業は、唐箕（とうみ）という機械を使って風の力で小麦とゴミを選別します

市村自然塾 関東 年間スケジュール（概要）

3月上旬	入塾式
3～4月	野菜の植え付け・みそ作り 天体観測・チーム農園
5～7月	泥んこ大会・田植え・ホタル観察 茶摘み・川遊び・小麦収穫
8～11月	稲刈り・保護者参観デー ハイキング・収穫祭
11月下旬	卒塾式

村山久夫塾頭のお話

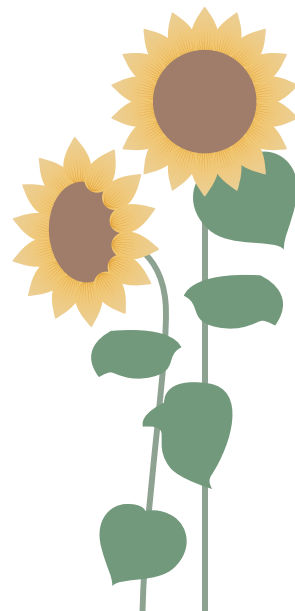
2001年設立の「市村自然塾 関東」は、支援企業の方々や個人賛助会員の皆さまのおかげで無事25年という節目を迎えることができ、卒塾生も1000人を超える人数になりました。

2026年度（第25期）の活動状況としては、塾生たちによるチーム農園での農作業や茶摘み、恒例行事の稲作のほか、マナーに関する専門家の方をお招きして男女合同によるマナー講座を行うなど、世話人はもちろん保護者の皆さまや支援企業の社員ボランティアの皆さんの応援もあり順調に進んでいます。

社員ボランティアは随時参加を受け付けていますが、毎月第3土曜日を活動日として畑作業のサポートなど担っていたり、大変助かっています。また、卒塾生たちの集まりである「大地の会」では、夏キャンプや体験プログラムの開催などさまざまな活動が行われており、「おかえり農園」という活動では家族を伴って参加する卒塾生もいるようです。

入塾時は遠慮ぎみだった塾生も、卒塾時には自分の思いや意見をしっかりと発言できるまでになり、その成長ぶりにはいつも驚かされます。

塾での時間は彼らの人生の中の瞬間に過ぎませんが、この経験が将来の糧になり、困難にも負けない強い心を養う一助となることを願っています。これからも豊かな自然の中で塾生がイキイキと活動できるようサポートしていきたいと思っています。



第25期生男子塾生たちの活動の様子



田植え作業



キャベツの収穫



川遊び



第9ステージに参加した第25期生(女子)の塾生たちと塾頭、世話人の皆さん。後列左端が村山塾頭、2列目中央(紫のTシャツ姿)が世話人の中村さん

世話人・中村璃冬さんのお話

私が通っていた専門学校の卒業生が市村自然塾で働いていたことがきっかけで、最初はインターン生として自然塾の活動を体験させていただきました。専門学校では自然環境保全について学んでいて、農業にも興味があったので今は日々新しい学びを得ることができ、とても充実しています。今年度からは世話人として働いていますが、私たちの仕事は塾生の人生の一部になる責任のある仕事だと感じています。塾生には共同生活や農作業を通じて学んだことを自らの成長につなげてほしいと思いますので、その手助けができるように意識して働いていきたいです。

「市村自然塾九州」の活動紹介

「市村自然塾九州」は、2002年に設立され、来年で25年を迎えます。

現在、第22期生(男女合わせて36人)の塾生たちが元気に活動していますので、その様子を紹介します。また、新代表理事に就任された泉俊彦さんと、塾生たちの活動をサポートしている塾頭の黒田隆太郎さんに、市村自然塾九州について伺いました。

●インタビュー

泉 俊彦 代表理事

市村自然塾九州の魅力について

「市村自然塾九州」は佐賀県鳥栖市東部の山あいに広がる、森に囲まれた自然豊かな地域にあります。このような環境の中で子供たちが共同生活や農業体験を通して、自然の厳しさや恵みを感じ、失敗しながらも一緒に知恵を出し工夫して切り抜けていく。そんな体験ができることが一番の魅力だと思います。

今後の取り組みについて

基本理念に沿ってビジョンを再構築し、塾の活動を魅力的なものにしていくことが重要だと思います。そのためには、スタッフやボランティアの方々と協力し、支援してくださる各企業の

ふるさと納税について

皆さまと連携して、自然塾や市村清についてもっと知っていただくことが大切です。今年から市村清の生誕地・みやき町との連携をスタートいたします。来年は25周年を迎えますので、確実に歩みを進めていくことが大きなテーマです。

「市村自然塾九州」は、法人・個人会員の皆さまからの会費を元に事業運営を行っています。佐賀県ふるさと納税による寄付で、当塾の活動を支援していただくこともできます。おかげさまで毎年多額の寄付をいただき、感謝しております。

返礼品はありませんが、ご寄付いただいた皆さまに「寄付をしてよかった」と思っていただけのように、何かしらの形で感謝の意をお伝えできるよう、準備をしたいと考えております。ぜひとも皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。



入塾式の記念撮影。前列中央が泉代表理事、最後列左端が黒田塾頭

第22期生塾生たちの活動の様子



泥んこ大会ではチーム対抗泥スキーレースでスキーから落ちないように頑張りました



野菜の手入れ作業



「大きく育て、たくさんの実がつきますように」、そう願いながらチーム農園で育てたキュウリなどの夏野菜を収穫



恒例行事となった田植え作業では、「米作りを知ろう」というテーマに基づき、全員協力しながら泥だらけで作業しました



「ふるさと納税」を活用した支援方法

①【公式】ふるさとチョイスにアクセス
QRコードを読み込む



②佐賀県 NPO 支援のページを
下にスクロールして
76) 特定非営利活動法人
市村自然塾九州をクリック

③ページ上部の
「お礼の品」不要の
寄付をするをクリック

市村自然塾 九州 年間スケジュール (概要)

- 3月上旬 入塾式
- 3～4月 野菜の植え付け・みそ作り・天体観測
チーム農園
- 5～7月 泥んこ大会・田植え・ホテル観察
座禅会・リポートレッキング
清掃ボランティア
- 8～10月 稲刈り
塾野菜料理会・親子共同農業体験
九千部山登山・餅つき
- 11月上旬 卒塾式

黒田隆太郎塾頭のお話

塾の活動において、心掛けていることは

一番大切なのは、塾生自身が体を使って取り組む中で生まれた学びや感情、気付きこそが「自分の答え」であるということです。スタッフはなるべく助言などせずに、塾生に「問う」ことを重視して、塾生自身が「自分の言葉で返す」ことができるよう心掛けています。

今までで一番の思い出は

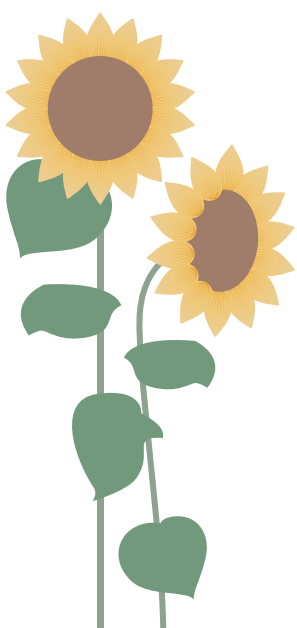
10年ほど前のこと、不登校だった子供が自然塾にはほとんど休むことなく最後まで通ってくれたことです。チームの中で意見の相違などが出た際は全員が問題と向き合い、たくさんの方の回答を重ねた結果、塾生同士の理解や意思疎通が深まりました。ラストステージでは、仲間と出会い、農業や自然体験活動を協力しながらやり通したことで、仲間のことが本当の兄弟のように思えた、その子は涙ながらに皆への感謝を言葉で伝えてくれました。あの場面は今も私の脳裏に深く焼き付いています。

子供たちとのコミュニケーションは

自分で考える力を育ませる取り組みの一つとして、世話人が塾生と共に活動をする中で、「四無^{よんなし}」と言われるコミュニケーションスタンスを基本としています。

①「指示しすぎない」、②「命令しすぎない」、③「教えすぎない」、④「世話を焼きすぎない」

子どもたちが体験活動（農業、自然体験、共同生活）で得た学びや気付きをより深いものにするため、「自分で考える力」を奪ってしまわないよう配慮しています。



三愛会・創業者市村清顕彰活動 その1

三愛会主催『市村清ゆかりの地を巡る・東京ツアー 2026』を開催

コース：創業者・市村清墓参（元麻布 賢崇寺）～ 市村清新技術財団（旧市村邸）～ 市村清銅像（リコー本社）～ 明治記念館 ～ 三愛オブリ羽田支社

三愛会では、創業者・市村清に触れていただく機会として、5月22日、都内にあるゆかりの地を訪ねる「市村清ゆかりの地を巡る・東京ツアー 2026」を開催しました。

当日はあいにくのお天気でしたが、三愛会8支部から参加された22人の方々と、市村が眠る「賢崇寺」の墓参からツアーをスタートしました。次に訪れた「市村清新技術財団（旧市村邸）」では、三愛会 山下会長の挨拶の後、建て替えが決まって見納めとなる旧市村邸をじっくり見学し、生前の市村に思いを馳せました。

昼食は終戦直後、市村が再建を手伝った「明治記念館」にて。この時間を利用して、支部ごとに自己紹介や支部の近況報告も行われました。

午後は羽田空港内の「三愛オブリ」を訪問。リニューアルが済んだばかりの事業所内管制室や貯油タンク、また、ハイドラントシステムによる給油作業の様子などを見学しました。

皆さんと共にゆかりの地を巡って市村を偲ぶとともに、参加者同士の交流も深めることができた有意義な1日でした。

賢崇寺



墓参からツアースタート

市村清新技術財団（旧市村邸）



挨拶する山下会長



財団の庭園で記念撮影

明治記念館



中央階段にて



自己紹介や支部の近況報告をする九州支部の皆さん

三愛オブリ羽田支社



事業所内管制室で説明を聞く皆さん。
調光ガラスのスイッチ ON でパッと中が見えた瞬間、一同から「おおっ！」とどよめきが…



ご参加いただいた皆さまのご感想（一部抜粋）

- 改めて市村清さんの功績のすごさ・偉大さを実感できました。今後も次世代への継承の必要性を感じました。
- 知っているようで知らなかった部分、知ってはいるけど行ったことの無い場所、そんな一面やゆかりの地に足を踏み入れることで、改めて市村清が目指した世界、リコー三愛グループの社会貢献度を理解することができました。
- 三愛精神はみな知っているが、リコー創業の歴史、三愛会の歴史を肌で感じる有効な機会であったと思う。
- 今回、市村清のことで見聞きし学んだことはしっかり自分でしゃくしたうえで、周りの人たちに伝承していきたいと思います。
- 新たな刺激を受け勉強になりました。創業者を知ることができる取り組みを支社でも今後検討したいと思いました。
- 今回のツアーに参加させていただき、通常では見られない・立ち入れない場所を見学することができたこと、仕事上ではなかなか関係がない方とのコミュニケーションが図れたことなど、とても充実した1日でした。
- 創業者・市村清の思想や戦後社会に対する数々の積善に感激のツアーでした。このような企画を継続し、たくさんの人が参加することで、三愛精神の継承につながると思います。

三愛会・創業者市村清顕彰活動 その2

エフエム佐賀・特別企画

リコー三愛グループ三愛会 presents 「5分でわかる！市村清の経済学」放送終了

エフエム佐賀では、2026年1月から3月まで「5分でわかる！市村清の経済学」を放送。このラジオドラマシリーズも今年で第6弾となりますが、今回は『文系タイプの経営者と理系タイプの経営者』、『THE 広告塔』、『社会メセナと文化的インフラ』、『長期経営ビジョン』など、「経済」という切り口で、佐賀大学の山本長次教授特別監修のもと、新しい市村清の人物像に迫りました。※三愛会のホームページでは、番組の音声だけでなくテキストデータも合わせて公開していますので、ぜひ視聴ください。

「5分でわかる！市村清の経済学」 https://www.san-ai-kai.jp/ichimura/gallery.html#footprints_01

放送後、番組を聞いた感想がエフエム佐賀にたくさん寄せられましたのでその一部をご紹介します。

- 市村清さんという偉大な実業家の人柄や思考に触れることができ、まるで彼と直接対話しているような感覚になりました。
- 家族主義的経営のお話良かったです。丁稚奉公が主流の中、好待遇だったのですね。経営家族主義、良い言葉を聞きました。
- 銀座の一等地に建てるメリットはリアル広告塔。宣伝価値のある建物は全国各地に知らしめるというのはなるほどと思いました。



支部の活動報告

九州支部 リコージャパンにて勉強会を実施

リコージャパンでは、1月29日に大分支社、2月5日に鹿児島支社、さらに2月27日に佐賀支社、3月11日に熊本支社にて「市村清とリコーの歴史」を学ぶ勉強会が開催され、営業所長やサービス所長、部門長など多くの社員が参加しました。勉強会では3月末に長崎支社を退職された山口明人氏が講師を務め、市村清の経営学とリコーの歴史を学びました。



佐賀支社にて。山口明人さん（前列右から3人目）と田町幸子支社長（隣）

東北支部 新年会開催

1月30日、幹部社員19名が出席し、仙台市内で新年会を開催しました。今年一年の更なるリコー三愛グループ全体および東北支部の発展と互いの活躍を誓い合いました。



神奈川・東静岡支部 2025年度見学会・懇親会開催

3月17日、幹部社員28名が出席してリコー仲町台事業所およびリコーITソリューションズの見学会を開催。その後の懇親会で積極的に交流を図り、親睦を深めました。



中部支部 2025年度総会・懇親会を開催

2月9日、リコージャパン名古屋事業所にて総会が行われ、幹部社員12名が出席。総会に続いて懇親会を開催し、お互いの近況や情報交換をしました。



富永支部長（前列右から4人目）を中心に記念撮影

支部の活動報告

中国支部 定例総会・懇親会を開催

4月15日、幹部社員7名が出席して、定例総会と懇親会を開催。総会では2025年度の行事実施報告や2026年度の行事計画等を検討しました。



石川支部長（前列右から2人目）をはじめ中国支部の皆さん

東京支部 2026年度総会を開催

4月23日、リコージャパン本社にて実施された総会に会員会社の代表者13名が出席、2025年度の事業報告や2026年度の行事計画案などが話し合われました。



九州支部 新年度会を開催

5月20日、サガテレビ内のJONAI SQUAREにて新年度会を開催。17名の幹部社員が出席してお互いの近況を語り合うなど、新年度にふさわしい有意義な時間となりました。



「三愛会社友会」（リコー三愛グループOB会）入会のご案内

三愛会社友会はリコー三愛グループの会員会社を定年退職または退職された方が退職後も相互に親睦を深めていこうと1975年に発足したOB・OG会です。

毎年4月の「総会・懇親会」、7月の「夏季ビアパーティー」をはじめとして共通の趣味を持つ者同士の自主的な活動（サークル活動）も活発に行われています。

入会の特典として、長寿のお祝い金、また、叙勲・授賞のお祝い金や万が一のときに弔慰金をお届けいたします。

人生100年時代、実り多き人生の後半戦を三愛会社友会に参加して集い楽しんでみてはいかがでしょうか。

入会は退職後、いつでも可能です。ぜひ、この機会にご検討ください。皆様のご参加をお待ちしています。

- 入会資格：三愛会会員会社の定年退職者、または勤続20年以上、もしくは会員2名以上の推薦
- 入会金：3,000円
- 年会費：3,000円（7月以降入会は、当年度会費1,500円）
- 入会方法：各社人事総務ご担当者 または
三愛会社友会事務局（070-4418-0126）へお問い合わせください。

慶弔について

- 長寿祝い（喜寿／米寿）：それぞれ満年齢のお誕生月に1万円を贈呈
- 叙勲・授賞のお祝い：1万円を贈呈（ご本人より申請ください）
- 会員弔慰：弔慰金1万円

社友会の10サークル

- 散策 ● ハイキング ● ゴルフ ● テニス ● スキー ● 健康麻雀 ● 囲碁・将棋 ● 尺八 ● カメラ ● スケッチ画



ハイキングサークル
丹沢山～七沢温泉（2025.12）



カメラサークル
九品仏、浄真寺を撮る（2025.12）



スキーサークル
斑尾高原スキー（2026.2）

「愛の手募金」からのご報告とお知らせ

2025 年 11 月～12 月に実施された「愛の手募金強化月間」では、グループ社員の皆さまのご協力により 10,200,821 円の募金が集まりました。

皆さまから寄せられたご厚志は、昨年 12 月に年末プレゼントとして 890 万円を遺児、重度の障がいを持つお子さんたち 89 人（10 万円/人）に、167 万円を今年 3 月に小・中・高校へ入学（進学）されたお子さんたち 20 人に入進学祝金としてプレゼントいたしました。

愛の手委員会では、リコー三愛グループの社員の皆さまから寄せられたご厚志を、毎年 12 月に「年末プレゼント」、3 月に「入進学祝金」として対象のお子さんに贈呈しています。

愛の手の対象となる条件など、詳細については愛の手委員会事務局へお問い合わせください。

【問い合わせ先】リコー三愛グループ愛の手委員会 事務局
TEL：050-3534-3401（三愛会代表）

リコーブラックラムズ東京 歴代ジャージ×愛の手募金

ブラックラムズ東京が、過去のシーズンで使用した公式ジャージをリコーグループ社員に販売し、その売り上げの全額を愛の手募金に寄付されました。

3 月 29 日、秩父宮ラグビー場にて贈呈式が行われ、ブラックラムズ東京の西辻ゼネラルマネージャーから愛の手委員会の山下会長に目録が手渡されました。



西辻ゼネラルマネージャー（左）と山下会長

三愛会会誌・Web アンケートの実施 より良い紙面づくりにご協力ください

三愛会会員会社の皆さまに、本誌の満足度と今後について、Web アンケート調査を実施します。

※回答は、下記の共通 URL、または QR コードから。

<https://jp.surveymonkey.com/r/SAN-AI177>

アンケート 実施期間 8 月 20 日（木）～ 10 月 15 日（木）

*後日、三愛会がランダムに抽出した三愛会会員各社社員の方々にも本アンケートのお願いをメールで送らせていただく予定です。ご協力をよろしくお願いいたします。



三愛会カレンダー〈2026 年 8 月～27 年 2 月〉

※ 2026 年 7 月 1 日現在

三愛会全体

- '26 年 9 月 三愛会理事会
- 三愛会常任理事会
- 11 月～ 愛の手募金強化月間
- 12 月 創業者祥月命日・墓参
- '27 年 1 月 『三愛会会誌』第 178 号発行
- 2 月 『リコー三愛グループ案内 2027』発行

支部

- '26 年 9 月 東京支部サマービアパーティー
- 北海道支部ビアパーティー
- '27 年 1 月 各支部新年会（予定）

読者の声

『三愛会会誌 176 号』への Web アンケートに多くの方からご意見・ご感想をいただきました。ご協力ありがとうございました。アンケートの中から一部をご紹介します。

●創業者・市村清物語『市村の森』

*パナソニックの松下幸之助さんとも交流があったなんて、市村さんの顔の広さに驚きました。（リコー）

*市村清物語はいつも楽しみにしています。市村清さんのエピソードには毎回感動しますが、もっと世間に知られるべき存在の人だと思います。（リコージャパン）

●特集：三愛会創立 80 周年

*まだ小さい子どもの頃、大阪万博に家族で行きました。さすがに記憶はありませんが…。（リコー）

*昔はどの会社にも“社歌”がありましたね。三愛会にも会歌があったなんて知りませんでした。作曲した山本直純さんは有名ですね。そんな有名人が作曲しているなんてすごい！（リコー）

編集後記

今回、“市村自然塾 関東”に初めて訪問。宿舎は山の深い緑に囲まれ、近くにはホテルが鑑賞できるきれいな川が流れていました。“取材”という目的そっこのけで、子どもたちと一緒にジャガイモ掘りをした結果、腰が痛くなって…。でも、普段、土に触れる機会がほとんど無い私にとって、この経験はとても新鮮で楽しかったです。



ジャガイモの畝の隣に植えられたズッキーニが旬を迎えていて、“こんなふうに着つんだ～！”と、この日一番の感動！皆さんは知っていましたか？（E 子）

『三愛会会誌』編集委員

ほし	や	のり	こ
星	谷	紀	子（リコー）
いわ	た	とし	幸（リコーエレメックス）
岩	田	敏	み（三愛オブリ）
あず	また	ゆ	見（リコーリース）
東	田	裕	絵（リコーリース）
さ	とう	なつ	ひろ
佐	藤	夏	尋（リコークリエイティブサービス）
たけ	だ	ち	
竹	田	千	

会社（団体）名	所在地 ※ビル名は省略	電話番号	事業内容
三愛会	東京都大田区中馬込1-3-6	050-3534-3401	会員会社・社員の福利厚生・親睦・文化活動等
(株)リコー	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-8111	デジタルサービス、デジタルプロダクツ、グラフィックコミュニケーションズ、インダストリアルソリューションズ、及びその他において、開発、生産、販売、サービスの提供
リコージャパン(株)	東京都港区芝3-8-2	050-3534-0800	さまざまな業種におけるお客様の経営課題の解決を支援する各種ソリューションの提供
迫リコー(株)	宮城県登米市迫町佐字北散田86	0220-22-4431	OA機器製造、精密金属部品の工法開発から製造
リコーインダストリー(株)	神奈川県厚木市下荻野1005	046-243-1210	事務機器、光学機器、印刷機器、機械装置等とこれらの消耗品の製造ならびに販売など
エトリア(株)	神奈川県横浜市区西高島1-2-5	050-3814-7000	事務機器・産業機器・光学機器及びその周辺機器・消耗品等の開発・生産・販売等
エトリアマニュファクチャリングジャパン(株)	静岡県沼津市西沢田146-1	050-3814-5442	複合機・プリンター、周辺機及びその消耗品等の生産・再生に関わる事業
リコークリエイティブサービス(株)	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-2685	事業所運営事業、厚生支援事業、ビジネス支援事業など
リコー PFUコンピューティング(株)	神奈川県海老名市泉2-7-1	050-3817-3333	組込みコンピューティング事業、エッジデバイス事業、EMS事業、フォント事業など
リコー ITソリューションズ(株)	神奈川県横浜市中区新栄町16-1	050-3817-3900	ソリューションサービス事業、リコーグループ社内ITシステム事業
リコーイメージング(株)	神奈川県横浜市中区新栄町16-1		カメラ、その他光学機器の製造・販売及びサービスの提供
リコーエスポアール(株)	神奈川県厚木市下荻野1005	046-243-1590	アフターサービス用部品の包装、梱包業務、部品の組み立て、リサイクル業務など
リコーデジタルペインティング(株)	東京都町田市小山町800-5	042-751-6110	プリンター、インク／塗料の開発・製造・販売
リコーテクノリサーチ(株)	神奈川県海老名市泉2-7-1	046-292-5372	特許調査・外国出願（米欧中韓の翻訳）・特許管理
リコーエレメックス(株)	愛知県岡崎市井田町3-69	0564-23-5111	精密加工部品、産業機器、OA機器関連等の製造・販売
リコーエレメックスエーティー(株)	岐阜県恵那市長島町中野1218-2	0573-25-8524	精密加工部品等の製造・販売
リコーリース(株)	東京都港区東新橋1-5-2	03-6204-0700	リース&ファイナンス事業、サービス事業、インベストメント事業
三愛オブリ(株)	東京都千代田区大手町2-3-2	03-6880-3100	石油製品およびLPガス等の販売、航空燃料取扱業
キグナス石油(株)	東京都千代田区大手町2-3-2	03-5204-1600	石油類、石油化学製品の売買
佐賀ガス(株)	佐賀県佐賀市兵庫町大字西淵1996	0952-30-6161	都市ガス供給事業、ガス器具等の小売販売
三愛リテールサービス(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6810-3900	石油製品等の販売
三愛オブリガス東日本(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6864-1833	LPガス・ガス器具等卸売・小売販売など
三愛オブリテック(株)	東京都品川区東大井5-22-5	03-6864-1850	CT事業、建設事業
三愛オブリガス西日本(株)	福岡県福岡市博多区冷泉町5-32	092-291-1731	LPガス・ガス器具等卸売・小売販売など
三愛オブリガスサービス中国(株)	岡山県倉敷市中庄2230-7	086-461-0164	LPガスの配送・充填
三愛オブリガス三神(株)	佐賀県神埼市神埼町本堀3003-6	0952-53-1221	LPガス・ガス器具等の小売販売、建設業
三愛オブリガスサービス九州(株)	福岡県福岡市博多区冷泉町5-32	092-291-1750	LPガスの配送・充填
三愛オブリカスタマーサービス(株)	高知県高知市本町4-2-52	088-888-7200	石油関連製品等の受発注業
(株)トスプロ	佐賀県鳥栖市儀徳町2927-1	0942-83-3059	LPガス・ガス器具等の小売販売
(株)サガテレビ	佐賀県佐賀市城内1-6-10	0952-23-9111	放送法に基づく放送事業、メディア事業、その他の放送関連事業
(株)西銀座デパート	東京都中央区銀座4-1先	03-3566-4008	不動産賃貸業及び商業施設運営管理
(株)エフエム佐賀	佐賀県佐賀市本庄町大字袋286-5	0952-25-7790	放送法に基づく超短波放送事業、その他の放送関連事業
瀬の本高原リゾート(株)	熊本県阿蘇郡南小国町満願寺5621-7	0967-44-0513	観光ホテル、ドライブイン等の運営
日清紡マイクロデバイス(株)	東京都中央区日本橋横山町3番10号	03-5642-8222	電子デバイス製品・マイクロ波製品の設計および製造・販売
SBSネクサード(株)	東京都新宿区西新宿8-17-1	03-6772-8202	国内物流、国際物流に関するトータルソリューション事業
SBS三愛ロジスティクス(株)	東京都新宿区西新宿8-17-1	03-6772-8203	地域における物流トータルソリューション事業
(株)オプトル	神奈川県横浜市区保土ヶ谷区神戸町134	045-286-5112	ADAS向け車載カメラやHUD部品、プロジェクターレンズ、光学デバイスの企画・開発・製造・販売とそれらを使用したサービスの提供
佐屋醤油(株)	佐賀県佐賀市唐人1-1-16	0952-23-4624	醤油製造業、駐車場業、保険代理業
リコー三愛グループ健康保険組合	東京都品川区南品川16-11-6	03-3740-4881	加入会社社員・家族の医療給付と保険事業
公益財団法人 市村清新技術財団	東京都大田区北馬込1-26-10	03-3775-2021	新技術開発助成、市村賞贈呈、植物研究助成、少年少女創造性育成、地球環境研究助成、市村賞受賞記念フォーラム
リコーグループ福祉会	東京都大田区中馬込1-3-6	03-3777-4278	リコーグループ各社への共済事業

RICOH
imagine. change.

“はたらく”に、
喜びを。



私たちのサービスが実現するのは、好きな時に、好きな場所で、自由にはたらける世界。
はたらく人、場所、ワークフローが自在につながり、人間らしい想像力が発揮される未来。
そして、“はたらく”の変革に実現する、持続可能な社会。
リコーは、あるべき未来を想い描き、今をかえていきます。

はたらく喜びを、生きる喜びへ、つないでいくために。

<https://jp.ricoh.com>

株式会社リコー 〒143-8555 東京都大田区中馬込1-3-6